

黒部市荒俣地区にて富山の海岸林（松林）に関する講演を行いました

県では、県民参加の森づくりなど、県土を支える多様な森づくりを推進しています。荒俣地区松枯対策協議会は、海岸林の機能や美しい砂浜と海岸林の風景を保全するため、令和3年度から松くい虫防除の樹幹注入やクロマツの植栽・下刈りなどの活動をしており、新川農林振興センターも協議会の構成員として携わっています。

このたび、海岸林保全の取り組みを地区住民一人一人の課題として再認識し、海岸林に関心を持ってもらうことを目的に、当センター職員が講演を行いました。

当日は、「富山の海岸林の歴史と松を守る人々について」をテーマに説明し、意見交換を行いました。参加者からは、「貴重な話を聞かせてもらい、参考になった。」「ぜひ今後もこのような場を定期的に設けていきたい」などの意見が寄せられました。

【講演の概要】

主 催：荒俣地区松枯対策協議会

日 時：令和7年12月6日（土）14：00～15：00

場 所：荒俣公民館（黒部市荒俣 地内）

内 容：「富山の海岸林の歴史と松を守る人々について」

参加者：15名（協議会会員、地区住民）



荒俣地区松枯対策協議会 寺田会長の挨拶



当センター職員による説明

説明資料の一部

